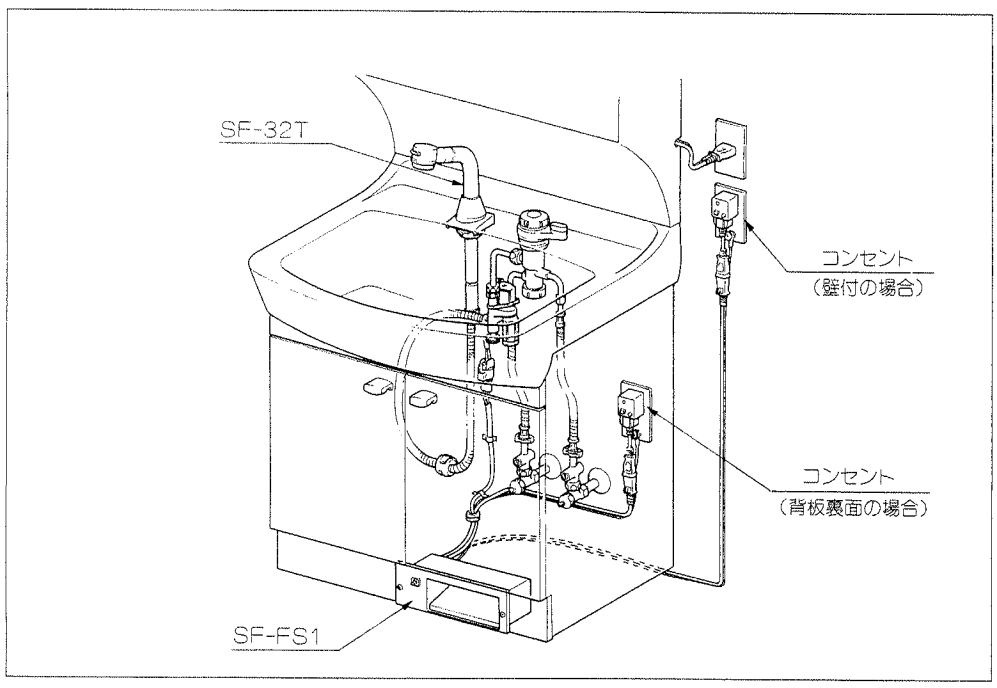
INAX

フットスイッチ

一般地用 SF-FS1　　寒冷地用 SF-FS1N

●施工完了図



●仕様

定格電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	常時：1.2W　吐出時：12W
使用環境温度	0～40℃
使用環境湿度	90%RH（相対湿度）以下

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語の説明

警告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意……取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警　告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 ※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。	水につけたり、水をかけないでください。 ※ショート・感電の恐れがあります。

⚠ 注　意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。 ※火災・感電の原因となります。	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 ※感電・ショート・発火の原因となります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※感電・ショート・発火の原因となります。
上水道以外は使用しないでください。 ※機械の内部腐食により、ショート・発火の原因となります。	交流100V以外では使用しないでください。 ※火災・感電の原因となります。

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。

〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕

給水圧力
- 最低必要圧力……A＋0.06MPa{0.6kgf/㎠}
  ※SF-32Tのみの場合と圧力条件が異なりますのでご注意ください。
- 最高圧力……0.59MPa{6kgf/㎠}

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

- 測定条件

※フットスイッチは「ON」、開閉ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力
- 最低必要圧力……0.05MPa{0.5kgf/㎠}
- 最高圧力……0.59MPa{6kgf/㎠}

- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力は給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。

●給水圧力が0.59MPa{6kgf/㎠}を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20～0.39MPa{2～4kgf/㎠}程度）に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

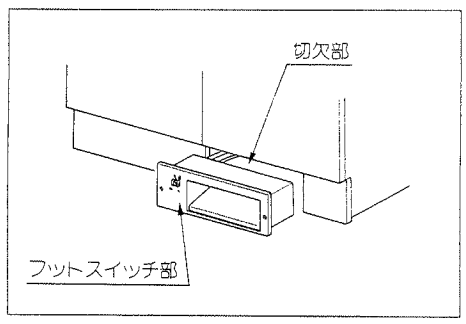
●本品は当社の洗面化粧台（TXシリーズ）のみに対応可能です。
他の化粧台や水栓には取り付けないでください。
●必ずアース工事（第３種接地工事）を行ってください。
※配線工事は電気工事店にご依頼ください。
●電源はAC100V(50/60Hz)、消費電力は12Wです。
これに適合したコンセントをご用意ください。
※化粧ミラーキャビネット用コンセントとは別に必要です。
●電気製品ですから、水をかけないでください。
また湿気の多い場所（浴室等）には設置しないでください。

●施工方法

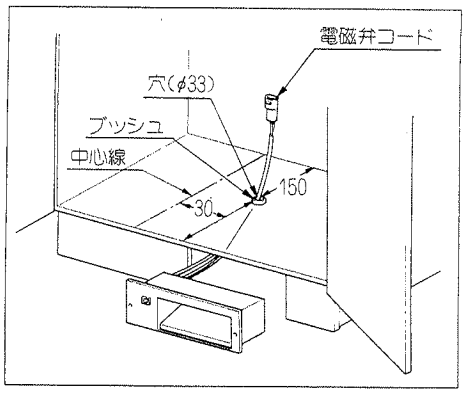
※予め洗面化粧台の施工説明書の「施工前の確認」を行ってください。

1．フットスイッチ部の取付け

(1)フットスイッチ部をキャビネット底部の切欠部に置きます。



(2)図のようにϕ33の穴をあけ付属のブッシュをはめ込み、電磁弁コードを通して、キャビネット内に引き込みます。

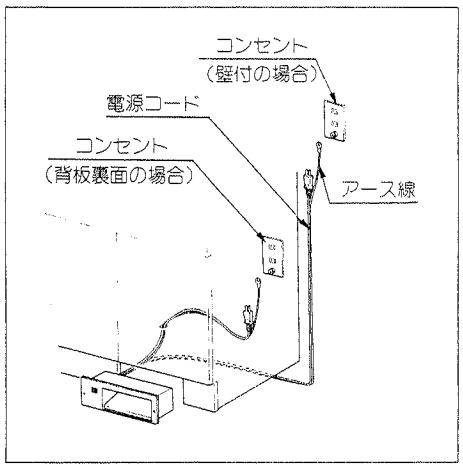


株式会社INAX

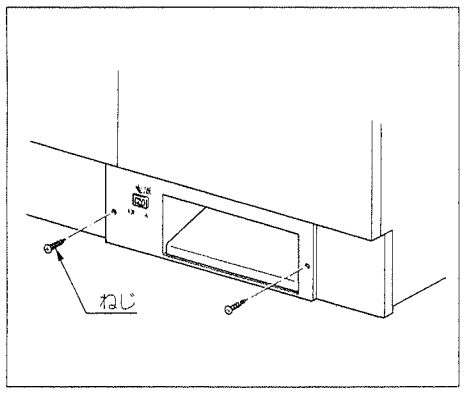
本社　☎0569-35-2700
横浜支社　☎045-242-1710
甲信支社　☎0263-36-2166
京滋支社　☎075-222-1794
札幌支社　☎011-271-1701
千葉支社　☎043-227-8171
名古屋支社　☎052-201-1717
広島支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-263-1710
埼玉支社　☎048-668-1177
静岡支社　☎054-251-1710
四国支社　☎0878-21-1701
東京支社　☎03-5541-7111
東関東支社　☎0286-37-3378
北陸支社　☎0762-64-1710
福岡支社　☎092-471-1710
西東京支社　☎0425-27-3341
関越支社　☎0273-27-1793
大阪支社　☎ 06-539-3500
南九州支社　☎096-322-1794

商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を
同梱の「ご愛用フォルダー」に入れ
てお客さまにお渡しください。

⑶電源コードとアース線をコンセントの位置に合わせて引き出します。
※電源コードをコンセントに差し込まないでください。



⑷フットスイッチ部を付属のねじ（呼び4×32)でキャビネットに取り付けます。



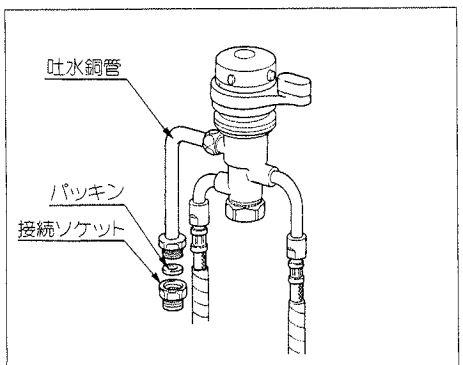
2．キャビネットの取付け、水栓の取付け

洗面化粧台の施工説明書の「キャビネットの取付け」「水栓の取付け⑴～⑺」に従ってください。

3．電磁弁部の取付け

洗面化粧台の水栓に電磁弁部を以下の手順で取り付けます。

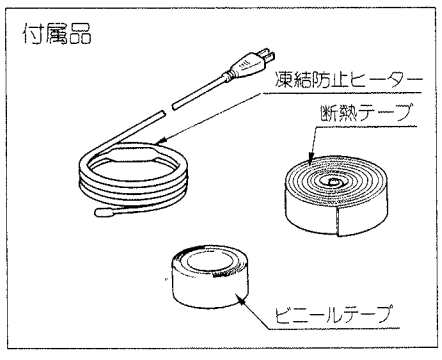
⑴水栓の吐水銅管の先端にある接続ソケットを外します。
※このときパッキンをなくさないでください。



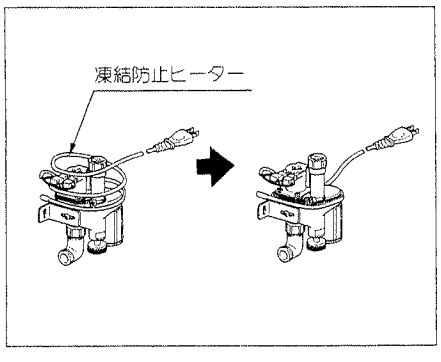
寒冷地の場合

①電磁弁部へ付属の凍結防止ヒーターを取り付けます。

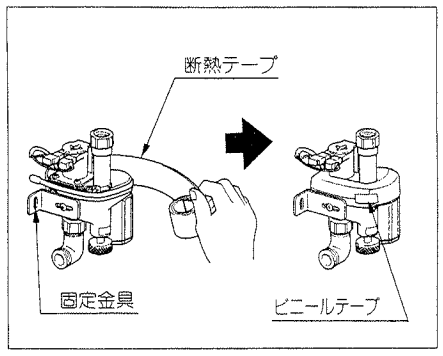
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



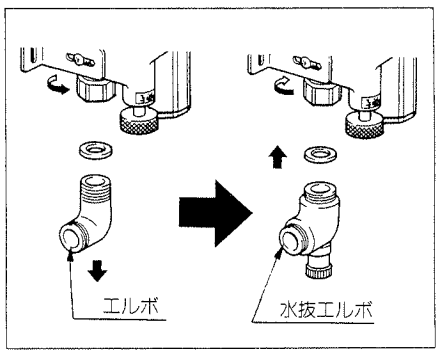
※付属の断熱テープを３～４回巻きつけ付属のビニールテープで固定してください。



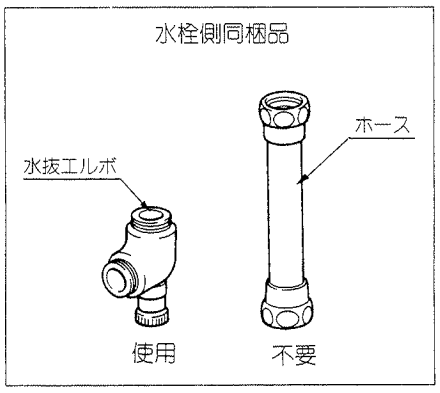
※固定金具をおおわないようにしてください。



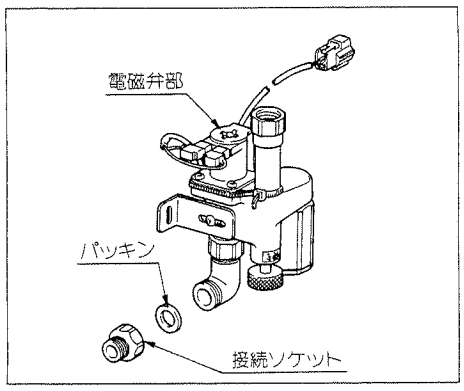
②電磁弁部に付いているエルボを水抜エルボに取り替えます。
※水抜エルボの位置が元の位置になるように取り付けてください。



※取り外したエルボと水栓側に同梱されているホースは不要です。

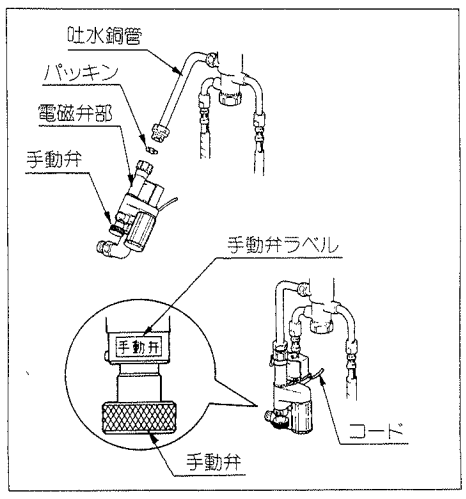


⑵外した接続ソケットとパッキンを電磁弁部に取り付けます。



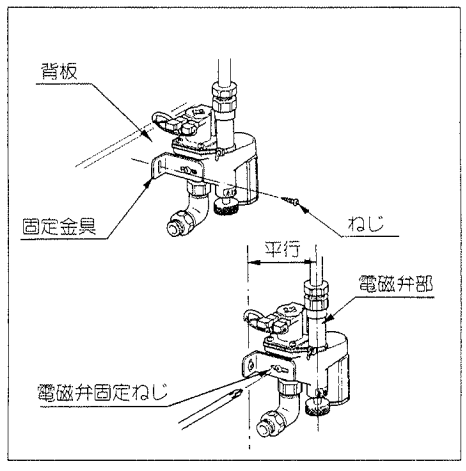
⑶吐水銅管に電磁弁部を取り付けます。

※手動弁ラベルが手前の位置になるように取り付けてください。
※電磁弁から出ているコードを傷つけないように注意してください。

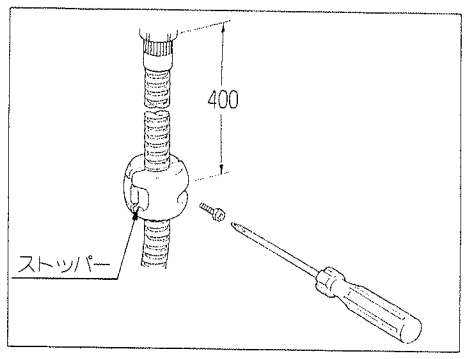


⑷電磁弁に付いている固定金具にねじ（呼び4×16）を通し、キャビネットの背板に固定します。

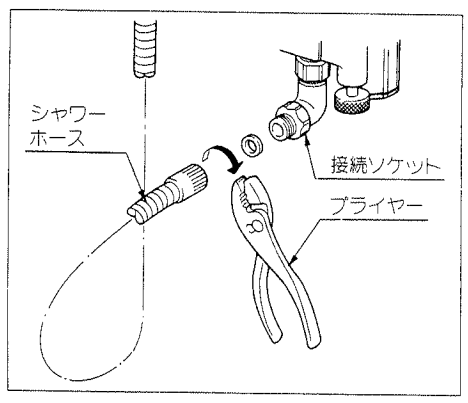
※電磁弁部がキャビネットの背板と平行になるようにしてください。平行にならないときは、電磁弁固定ねじをゆるめて平行にしてから、再び電磁弁固定ねじで固定してください。



⑸ストッパーをホース継手から400㎜の位置に固定します。

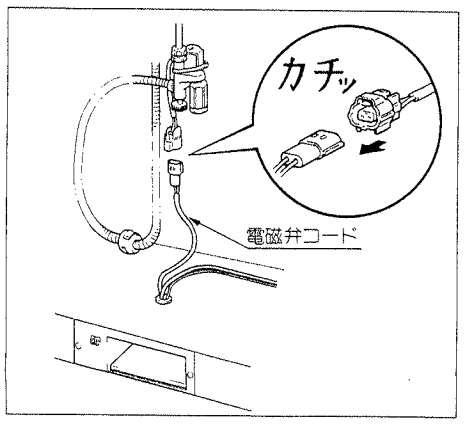


⑹接続ソケットにシャワーホースを接続します。
※工具(プライヤー等)を使って締め付けてください。



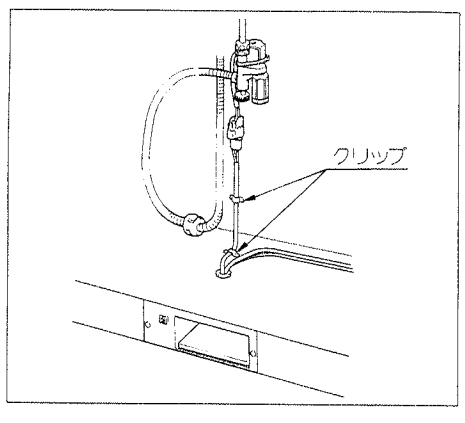
4．コネクター及び電源の接続

⑴キャビネット内に引き込んでおいた電磁弁コードと、電磁弁部のコードをコネクターで接続します。
※「カチッ」という音がするまで差し込んでください。



⑵電磁弁コードを付属のクリップで固定します。

電磁弁コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電磁弁コードが破損し、火災・感電の原因となります。

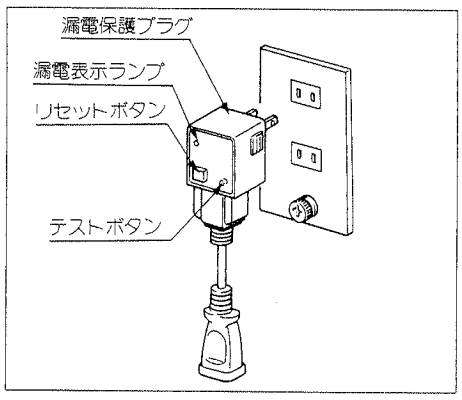


⑶漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。
※このとき、漏電保護プラグの作動確認をします。
①漏電表示ランプが消えていることを確認します。
②テストボタンを押して漏電表示ランプを点灯させます。
（点灯すれば電気が切れて正常に作動することを示します。）

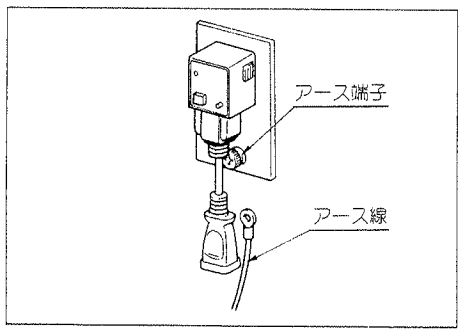
点灯する → 電気が切れる

③リセットボタンを押して漏電表示ランプを消す。

消灯する → 電気が通じる

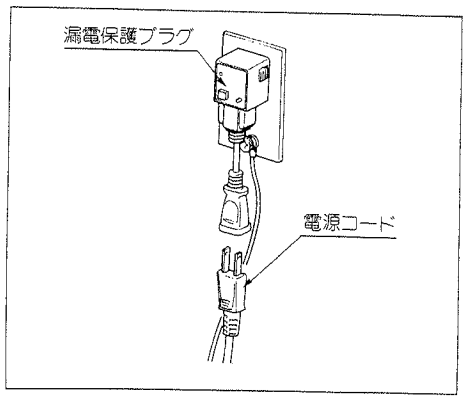


⑷アース線をコンセントのアース端子に接続します。



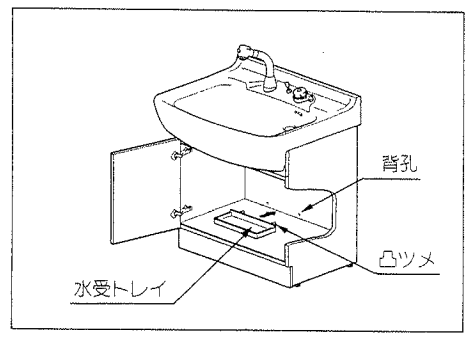
⑸コンセント近くに引き出した電源コードを漏電保護プラグに差し込みます。
※フットスイッチ部の前面パネルにある電源スイッチを「切」にしておいてください。

漏電保護プラグや電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



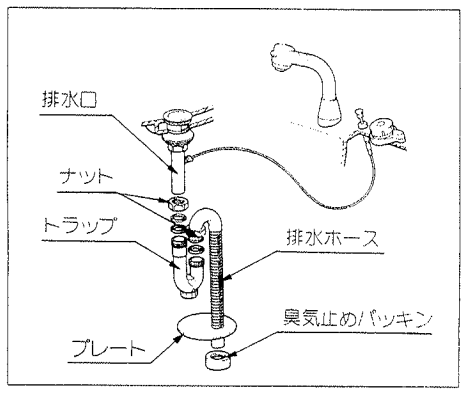
5．水受トレイの設置

水受トレイをホースの下方に設置します。キャビネットの背孔に水受トレイの凸ツメを差し込みます。



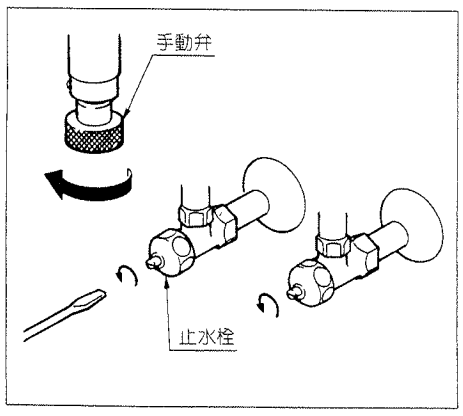
6．排水トラップの取付け

⑴洗面器下の排水口に排水トラップを図のように取り付けます。ナットは工具で締め付けてください。
排水口は取り付けてあります。増締めはしないでください。ゆるんでいる場合は980N･cm {100kgf･cm} で締め付けてください。
※強く締めすぎますと管が破損し漏水となる場合があります。
⑵建築側排水管には臭気止めパッキンをはめてから排水ホースを差し込みます。
⑶キャビネットの底板にプレートをはめます。

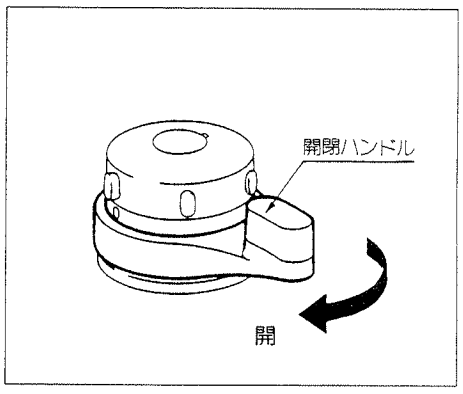


●施工後の調節と確認

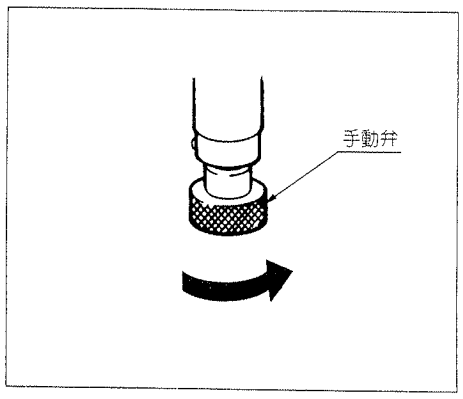
⑴止水栓を開け電磁弁部の手動弁を開けます。



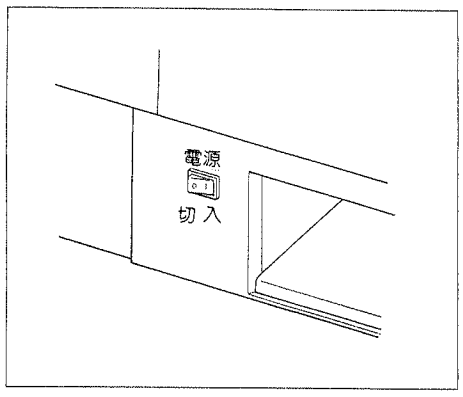
⑵排水栓を閉じ、開閉ハンドルを開け洗面ボウルを満水にしてから、排水栓を開け、排水接続部に漏れがないことを確認してください。
⑶排水栓を閉じ開閉ハンドルを開け洗面ボウルを満水にして、オーバーフロー能力のある範囲内で止水栓の開閉調節をします。



⑷電磁弁部の手動弁を閉じます。

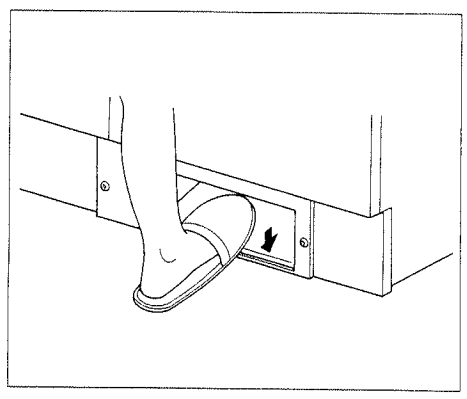


⑸フットスイッチ部の前面パネルにある電源スイッチを「入」にします。



⑹フットスイッチ部のペダルを踏んで吐水することを確認してください。
もう１度ペダルを踏むと止水します。

※繰り返して早く踏むと、反応しない場合があります。１～２秒待ってから踏んでください。



●引渡前の確認

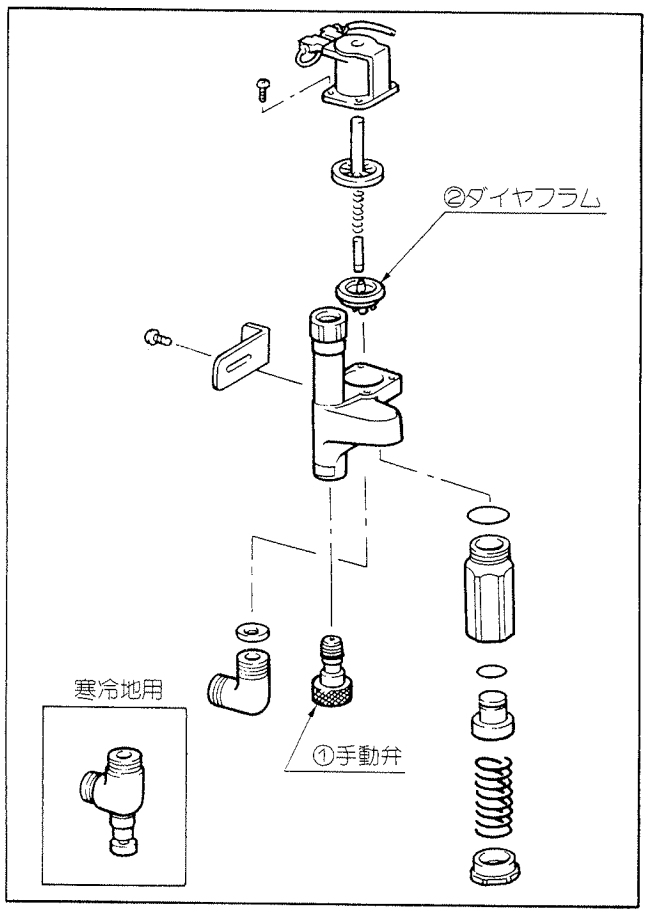
引渡前および故障時の点検は、以下の要領で行ってください。

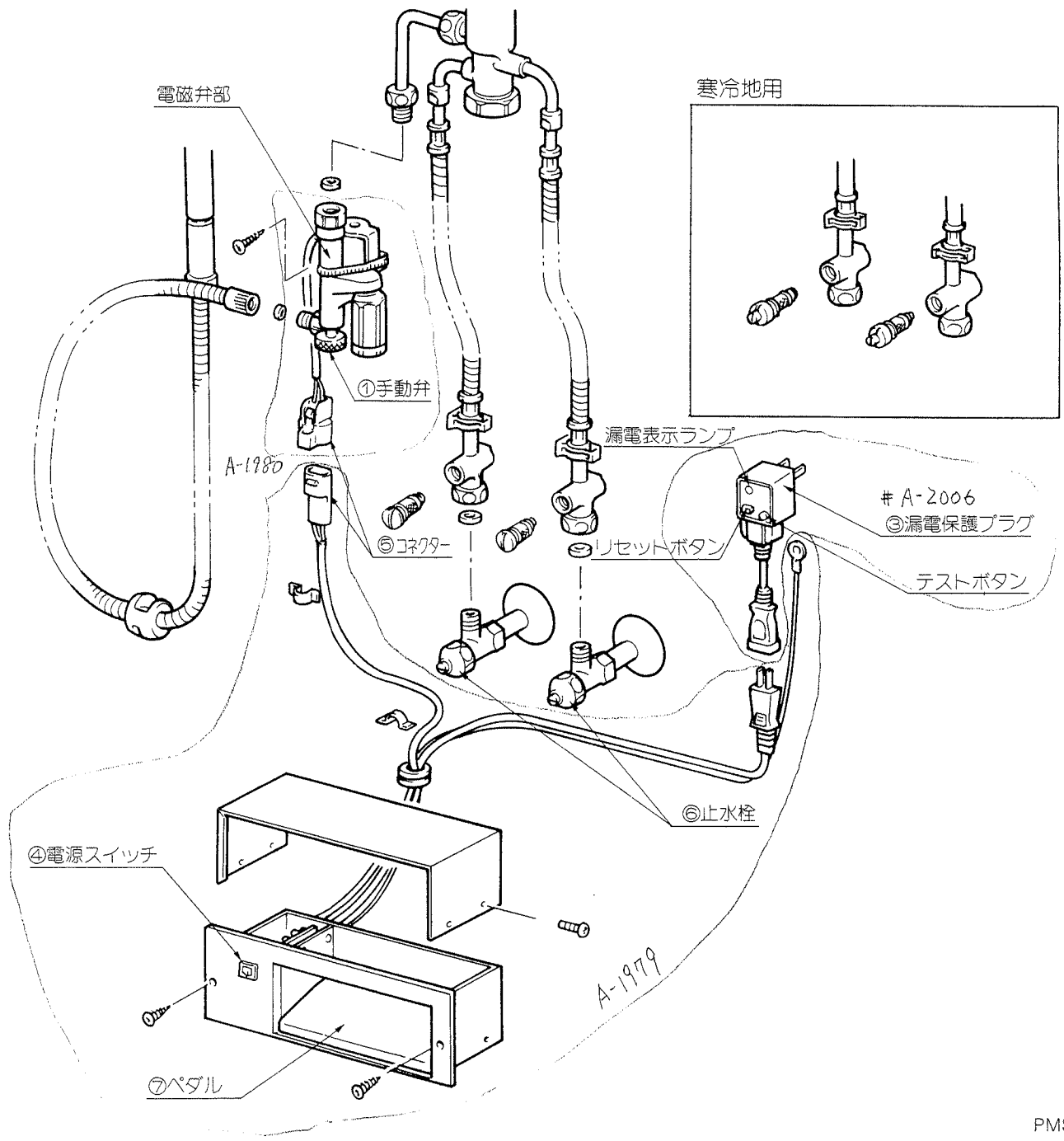
●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置
水が止まらない	手動弁が開いていませんか？	①手動弁	手動弁を閉じる。
	ゴミ詰まりはないですか？	②ダイヤフラム ①手動弁	ゴミを洗い流す。
水が出ない	コンセントに電気がきていますか？	——	停電、ブレーカーを確認する。 ※停電の場合、手動弁を「開」にすると水は出ます。 ※停電が解除になったら手動弁を「閉」にしてください。
	漏電保護プラグがコンセントに差し込まれていますか？	③漏電保護プラグ	漏電保護プラグを完全に差し込む。
	漏電保護プラグの漏電表示ランプが点灯していませんか？	③漏電保護プラグ	漏電表示ランプが点灯していればリセットボタンを押す。 ※リセットボタンを押しても漏電表示ランプが点灯するときは、漏電しています。 当社支社または営業所へ問い合わせてください。
	電源スイッチは入っていますか？	④電源スイッチ	電源スイッチを「入」にする。
	コネクターが外れていませんか？	⑤コネクター	コネクターを接続する。
	止水栓が閉じられていませんか？	⑥止水栓	止水栓を左に回し開ける。
開閉ハンドルが重い	フットスイッチが「閉」になっていませんか？	フットスイッチ	一回ペダルを踏んでから開閉ハンドルを操作する。
ペダルが重い	ペダルの奥に異物はないですか？	⑦ペダル	異物を取り除く。

電磁弁部





寒冷地用